

社会福祉法人 関西中央福祉会  
平成リハビリテーション専門学校

第8回 教育課程編成委員会 議事録

1. 開催日時 令和7年3月19日（水）18時00分～18時45分
2. 会議出席者
  - 樋笠 重和 （兵庫県理学療法士会 理事）
  - 井上 真一 （神戸平成病院 言語聴覚士）
  - 田山 大介 （西宮回生病院 作業療法士）
  - 松本 憲作 （淀川平成病院 理学療法士）
  - 渡邊 康子 （兵庫県作業療法士会 理事）
  - 堀川 康平 （兵庫県言語聴覚士会 阪神南ブロック長）
3. 陪席者
  - 藤本 陽子 （副校長）
  - 松村 竜誠 （理学療法学科 学科長）
  - 七谷 倫子 （作業療法学科 学科長）
  - 青木 崇 （言語聴覚療法学科 学科長）
  - 奥田 秀樹 （事務長）
  - 寺本 一平 （次年度事務長予定者）
4. 会議の場所  
兵庫県西宮市津門西口町2-26 平成リハビリテーション専門学校内  
Web 会議方式にて実施

## 5. 審議・議題事項

開催にあたり、各委員及び当校役職者の紹介を行う

続いて今回の議長の推薦をはかったところ、議長を青木学科長、書記を奥田事務長で推薦することを決め議事審議に入る

### 議案1. 「臨床実習に関する意見交換会」の開催報告

スライドの資料に基づき、藤本副校長より説明を行う

- ・今年2月28日に実施された第2回目についての報告
  - ・学校からの報告
  - ・グループワークの内容（事例についての情報共有）
  - ・前年と比較しての良かった点やそうでなかった点
  - ・指導についてそれぞれの事例
  - ・臨床実習指導者会議との差別化が今後の課題

### 議案2. 臨床現場から求める学校教育への要望

スライドの資料に基づき、藤本副校長より説明を行う。

- ・ここ数年間の指定規則改正やコロナ渦における情勢の中、臨床実習の在り方も変化してきた
- ・実習生の受け入れにかかわっている医療現場の方々の求める人材などについて意見を頂戴する

委員よりのご意見・ご質問・ご要望について

- ・情報の収集がし易くなっている分、集団での活動経験が少ない。その点について学校側の教育指導の内容も併せて変えていってほしい
- ・入職後の職場での横のつながりが希薄で仕事に追われている感がある
- ・指定規則改正後は実習が助手的立ち位置となっているようで以前とは意識が変わっているように感じられる
- ・学生目線での意見と現場目線での意見の擦り合わせが必要かと思われる

- ・コミュニケーションで新入職のセラピストがつまずく場面がある
- ・学校生活で規律ある生活や教員と学生の立ち位置もしっかり区別する教育が必要
- ・最近の経済事情の影響を受けているのかリハビリ業界の人材についても良い人材確保という面では厳しくなっている
- ・個々の学生によって個人差が大きくなっているし、新卒・中途採用者によっても異なる傾向が有る

藤本副校長より次回委員会開催予定の説明と参加のお願いを行う。

以上をもって各審議・報告事項を終了する。